

株式会社ファミリーマート 御中

夢の掛け橋募金  
2014年完了報告書

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの  
活動全体のご支援

2015年8月7日  
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



## はじめに

いつもセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンをご支援いただき有難うございます。

貴社とのパートナーシップは1993年より始まり、累計約11億円のご寄付をいただき、国内外の子ども支援および緊急支援活動をご支援いただいております。中でも、弊会の活動全体をご支援いただく寄付（無指定寄付）は法人企業様の中でもっとも多く、夢の掛け橋募金のおかげで、現場で直接子どもたちに支援を届ける事業に加え、アドボカシー（政策提言）活動や子どもの支援活動を強化する広報活動・法人連携部の活動など幅広い活動をご支援いただき、包括的な子ども支援活動を実現することができております。

2014年は、本社および店舗のみなさまに設置頂いた募金箱、ファミポート募金を通じた夢の掛け橋募金として51,822,658円のご寄付をいただきました。ファミリーマートのお客様、そして店舗のオーナー様と従業員のみなさまのご理解とご協力により、世界の子どもたちのために有効に活用させていただくことができました。心より御礼申し上げます。

今後ともあたたかいご理解とご支援を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

## 1. 事業概要

事業	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの活動全体
事業期間	2014年1月1日～2014年12月31日
対象国	ミャンマー、ベトナム、モンゴル、アフガニスタン、イラク、日本
事業分野	保健栄養、子どもの保護、教育、緊急支援

## 2. 事業内容

2014年、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは19の国と地域で活動を行い、612,445人の子どもと大人に支援を届けました。海外事業において、みなさまのご寄付を以下の活動費用の一部として活用させていただきました。

- ・モンゴル保健栄養事業、子どもの保護事業、教育事業
- ・ミャンマー保健栄養事業、子どもの保護事業
- ・ベトナム保健栄養事業
- ・アフガニスタン教育事業
- ・イラク教育事業
- ・ネパール洪水緊急支援

\* 上記のご支援に加えて、グローバル子ども募金を通じたタイ、ベトナム、インドネシアの防災事業も実施することができました（報告書提出済）。

## 3. 募金総額

2014年夢の掛け橋募金	51,822,658円
--------------	-------------



## 4. 活動報告

みなさまのご寄付は以下の活動費用の一部として活用させていただきました。

# 子どもたちが健康に生きる権利を守る セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの取り組み



基礎的な保健サービスへのアクセスが難しい状況にある妊産婦と子どもたちに焦点を当て、健康と栄養状態の改善を目指した事業を行いました。



新しい保健センターの完成（ミャンマー）



栄養食の調理実習（ベトナム）

### ●ミャンマー

「母と子のための地域に根差した総合的な母子保健事業」を実施し、3地域の6タウンシップで、母と子の健康改善の要となる保健サービスの利用促進を促しました。

コミュニティで保健活動の担い手となるボランティアや補助助産師の育成、助産師などの保健人材のサービス改善、地域の人々の保健・栄養の知識を深めるための教育や啓発活動、地域の保健センターの建設などを行いました。

### ●ベトナム

2歳未満の少数民族子どもたちの栄養状態の改善に向け、「最貧困層のための地場の食料確保と栄養改善事業」を実施しました。母と子を一体とした継続的な栄養ケア、地場の野菜や自然資源を活かした最貧困層でも可能な食料確保、安定した食料確保につながる現金収入向上など栄養改善に向け多面的なアプローチを取りました。

### 【ベトナム】

#### 栄養改善事業の 支援を受けた トウオンさん



「息子のための栄養食の作り方や、自宅でできる栄養菜園の作り方を学びました。息子が低栄養、低体重じゃなくなったことが、何よりもの幸せです。活動に参加できて、本当によかったです。このような活動が、以前の私と同じような悩みを抱えるお母さんにもっと広がっていくことを願います。ご支援いただき、心から感謝いたします。」



Save the Children  
JAPAN

# 子どもたちが学ぶ権利を守る セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの取り組み



紛争や貧困下にある子どもたちのための幼稚園や学校の環境を整備し、**学校運営の改善**に取り組みました。



## イラク事業

校舎壁に壁画終描く子どもたち。地元の壁画を作製する業者に技術支援をしてもらう形で、壁画のテーマとデザインは、子どもたちが事前に準備した



## モンゴル事業

就学前教育キットで遊ぶ遊牧民の子どもたち

## ●アフガニスタン

バーミヤン州で小中高校を含めてのべ22校を対象に、**教員研修・子ども保健教育・就学前教育活動**を実施しました。これらの学校に通う子どもたちはおよそ**2万人**に上り、紛争そして貧困の影響を受けている多くの子どもたちの学習環境の改善につながりました。

## ●イラク

過去4年間にわたって、**41の公立小学校**において「**学校運営委員会を通じた学校改善**」と「**子どもの参加**」を学校運営のモデルとして促してきました。2014年は新たに**116校**でこのモデルを普及し、子どもたちと地域が一緒になった学習環境の改善に取り組みました。

## ●モンゴル

幼稚園に通うことができない遊牧民の子どもたちに、**家庭で使える教材を提供**し、小学校に上がるために必要な知識やスキルを身に付けられるように支援をしました。その結果、**706人**が小学校に入学できました。

## 【アフガニスタン】

バーミヤン州内の  
高校に通う  
アディバさん



「この学校に初めて来たとき、子どもに対する体罰をいろいろなところで見かけました。（教員研修の結果）校内での体罰が減ってとてもうれしく思っています。怒られないと、より成長でき、自分に自信が持てます。私は学校に来るのが楽しいです。数学、宗教、英語が好きな科目です。もっと勉強を続けて大学に行きたいと思っています。」



Save the Children  
JAPAN



# 子どもたちが安全に生きる権利を守る セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの取り組み



養育施設で暮らす子どもたちや、紛争の影響を受けた子どもたちが安心・安全に暮らせる環境や仕組みづくりに取り組みました。



子どもたちの学習会の教員への研修風景  
(ミャンマー)



ソーシャル・サーカスに参加した子どもたち（モンゴル）

## ●ミャンマー

「紛争の影響を受けた子どものための保護事業」を実施し、暴力や虐待の被害を受けた子どもたちへ支援を提供する地域ボランティアグループの形成・育成、暴力に頼らない子育ての啓発、子どもたちの自己肯定感を促すための学習の機会の提供などを行いました。

## ●モンゴル

「ソーシャル・サーカス\*支援事業」を実施し、ウランバートル市の養育施設や子どもセンターに通う子どもたちが社会に復帰するために必要な協調性、コミュニケーション力などを身につけることを目指し、ソーシャル・サーカスの研修を行いました。また、これらの子どもたちがソーシャル・ワーカーによるカウンセリング、家庭訪問といった社会福祉サービスを積極的に受けられる機会を提供しました。

\*ソーシャル・サーカス：困難な環境下の子どもたちがサーカスへの参加を通じて社会性、自尊心、協調性、コミュニケーション能力などを学ぶことを目的とした活動

## 【モンゴル】

### ソーシャル・サーカスに参加している ガステセグさん



2014年の春からソーシャル・サーカスに参加しています。子どもセンターのソーシャル・ワーカーが研修に参加してみないかと誘ってくれました。ソーシャル・ワーカーとインストラクターが活動についてと説明してくれて、とても関心が高まりました。研修に参加して、多くのことを学びました。今はいろいろな演技ができます。それがとても楽しく、もっと多くのことを学べたらいいな、と思っています。去年の11月にセーブ・ザ・チルドレンの20周年記念式典でインストラクターと一緒に演技を行いました。来賓の方もとても興味深く見てくださって、とてもうれしく思いました。



# 子どもたちの生きる権利を守る セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの取り組み



メディアの注目のあたりにくい小規模な災害でも、私たちは子どもたちに支援を届けました。



Beneficiary with Non food Items in Bardia District © Save the Children



乳児用の衛生キットを手渡すセーブ・ザ・チルドレンの職員 © Save the Children

緊急支援物資を受け取る被災者

ネパールでは2014年、モンスーンの影響により大雨が続き、8月にシンドバルチョーク郡で大規模な地滑りが発生。続く3日間の間に計17郡が洪水に見舞われ、250名以上の死者に加え、数百人が行方不明となりました。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは迅速に支援を決定。以下の活動を実施するための資金的サポートをいたしました。

1. 緊急支援物資の配布：防水シート・毛布・調理器具・蚊帳・衛生キットなどの緊急支援物資計600セットの配布を行いました
2. 臨時学習所の設置：176校が被災したため、臨時学習所を設置。計678名の子どもたちが、被災後も継続して教育を受け続けることができました。
3. 乳幼児と母親に対するケア：離乳食や乳児用の衛生キットの配布を実施したほか、避難所内での出産施設の整備を行い、計700人の乳幼児と母親を支援しました。



© Save the Children

## ソバさん(黒い服の女の子)とその一家

「8月14日の洪水で、私の一家は家も何もかもを失いました。水が急に胸のあたりまでやってきて、両親も兄弟も、逃げるのに精いっぱいでした。学校が避難所になりましたが、固いセメントの上で雑魚寝の生活で、母親も体調を崩しましたが、皆さんから支援物資をいただいのおかげで、マットと毛布で眠ることができるようになり、食事もとれるようになったため、暮らしがずいぶん快適になりました。」

